

## 中心市街地活性化事業について

### 1 遠野駅前再開発の概要

遠野駅を中心とした駅前地区を、市民や観光客にとって利便性が高く、親しみやすい、「日本のふるさと遠野」にふさわしい玄関口として、平成25年度までに再整備します。

整備に当たっては、国土交通省の社会資本整備総合交付金（旧まちづくり交付金）を活用し、総事業費は約7億円となります。

### 2 遠野駅前再開発の主な事業

#### (1) (仮称) まちおこしセンター他

J Aの広域合併によって空きビルとなった旧J A遠野本所ビルを、まちおこしや商工業、市民交流の拠点となる「(仮称) まちおこしセンター」及び「(仮称) 地域交流センター」として改修します。

現在5階建のビルを3階建に減築するほか、柳田國男が遠野を訪れた明治時代の建築様式を参考として外観を改修します。設計に当たっては、駅との調和を考慮し、屋根の色に統一感を持たせました。遠野物語が発刊された時代をイメージさせることで、遠野を訪れる人々の期待に応えられる外観とします。

(仮称) まちおこしセンターとなる1階には遠野商工会、2階には市の産業振興部が入居し、市民や商工業者からの相談にワンストップで対応できる体制を構築します。

また、3階の(仮称) 地域交流センターには、市民の交流スペースとして、多目的ホール等を整備します。

なお、施設の名称をオープン前に公募します。

- 場 所 遠野市新穀町6-1
- 施設概要 鉄筋コンクリート造、地下1階・地上3階建、  
延べ床面積約：1,170 m<sup>2</sup>  
地下1階：倉庫・機械室等  
1階：(仮称) まちおこしセンター  
2階：遠野市産業振興部事務所  
3階：(仮称) 地域交流センター
- 工事期間 平成22年12月から平成24年1月※平成24年4月オープン予定

#### (2) (仮称) 観光交流センター

現在の観光案内所は、駅利用者にとって分かりにくい場所に設置されていることから、新たな観光拠点として、駅前ロータリーに(仮称) 観光交流センターを整備します。

(仮称) 観光交流センターには、遠野市観光協会の入居を予定し、市や関連団体と連携を図りながら、観光案内のみならず、地域情報の紹介や地域特産品の販売等、遠野の情報を一元的に収集・発信し、市民や観光客の交流とまちなかへの回遊を促します。

旧城下町の町家と蔵を基調とし、誰もが親しみやすく、木の温もりが感じられる外観

に整備します。

なお、施設の名称をオープン前に公募します。

- 場 所 遠野市新穀町 45 番
- 施設概要 木造 平屋建（一部 2 階建） 延べ床面積：約 530 m<sup>2</sup>
- 工事期間 平成 23 年 1 月から平成 24 年 1 月 ※平成 24 年 4 月オープン予定。

### (3) 駅周辺の環境整備

（仮称）まちおこしセンターや（仮称）観光交流センターの整備に合わせ、カッパ池のある駅前広場のほか、周辺の市道や歩道など、駅前エリアを面的に再整備します。

なお、（仮称）観光交流センターの整備により遊休施設となる現在の観光案内所の活用策は、今後検討します。

## 3 中心市街地活性化基本計画の策定から現在までの主な経過

○H17. 12～ 旧中心市街地活性化基本計画の見直し。（市及び商工会職員 11 名で、見直し H18. 3 作業班設置）

○H18 年度 中心市街地の活性化方策を検討。（市民 11 名及び市職員 5 名で、遠野まちなか賑わいプロジェクトチーム設置）

○H18. 12～ 以降、政策会議、庁議で 13 回協議。

○H19. 4. 1～ まちなか再生推進室を設置（市職員 3 名、商工会 1 名、遠野テレビ 1 名）し、H21. 3 遠野市中心市街地活性化基本計画案の作成。

○H19. 9. 11～ 遠野市中心市街地活性化協議会（会長遠野商工会長、他 22 名）で検討。以降、22 年度まで 7 回開催。

○H19. 11. 27～ 中心市街地活性化基本計画の認定申請に向け、内閣府と事前協議。以降、認定までの 1 年 4 ヶ月継続して協議。

○H21. 3. 27 内閣総理大臣から認定。（計画実施期間 H21. 4. 1～H26. 3. 31 総事業費約 18 億円）

○H21. 4. 24～ 遠野駅前施設活用希望団体調査を実施。以降、入居を希望する関係団体と調整。

○H22. 7. 12～ 遠野市中心市街地活性化事業推進本部を設置し、今後の方向性について検討。これまで 9 回開催。

連絡先 遠野市文化政策部文化まちづくり推進室 室長 佐々木 憲 康 電話 0198-62-2340 (内線 335)
---